

- ・ 今年、10回目となる節目の年となりました。
- ・ 第1回は、神戸高校が当時のSSH指定校5校を含む10校に呼びかけ、本校の講堂で、生徒約100人と教員を含む関係者約100名の合計200名が参加するという規模のものでした。
- ・ 第2回から大学や企業、研究機関にもポスターやブースで参加してもらえるようになったものです。

主催の兵庫「咲いテク」事業推進委員会は本校が事務局です。総合理学部が中心となって企画、準備、運営を行いました。

会場は昨年と同じポーアイの神戸大学統合研究拠点、兵庫県立大学神戸情報科学キャンパス、甲南大学フロンティアサイエンス学部(FIRST)、理化学研究所計算科学研究機構で開催しました。

- ・ 今年度は、県内SSH校8校をはじめ、県内41の高等学校、2つの高等専門学校が参加し、ポスター発表は106班、口頭発表は15班、計121の発表を行いました。また大学・企業・研究機関からは42ブースが展示やポスター発表を行いました。
- ・ 様々な努力のお陰で、来場者は昨年よりも約100人多い1542人でした(高校・高専生1114人)。
- ・ 今年も本校総合理学科1回生の樋口真之輔さんが中心になって取り組んで下さっている「サイエンスサポーターズ兵庫」の企画でサイエンスカフェを開催しました。11名の大学院生等が「(教えて先輩)理系進路と大学生活」をテーマに高校生たちの質問に答えて下さいました。ありがとうございました。

本校の発表タイトル

<口頭発表>	「アロマで香るダニ退治」
<ポスター発表>	「体内環境におけるセリシンシートの変化」
	「腎がん細胞における抗がん剤の併用効果」
	「ボルボックスの成長段階と性質との関連性」
	「紫キャベツのアントシアニン含有量と紫外線吸収物質の分離」



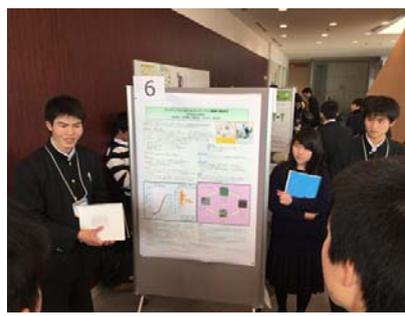
生徒も受付を手伝ってくれました



開会セレモニーは3カ所で、それぞれ若手研究者特別講演を実施しました。



本校の口頭発表の様子



本校のポスター発表の様子



サイエンスカフェの様子

- ・ 科学技術振興機構(JST)等から来られたご来賓の方によると、「他府県の同様の取組みで企業については、せいぜいブース出展程度で、ポスター発表まで行って高校生と交流しているところは聞かない」とのことで兵庫県の取組みに高い評価をいただきました。
- ・ 生徒達にとっても、刺激に満ちた充実した達成感のある1日であったと思います。
- ・ 当日は、昨年度と同様、多くの本校職員に助けて頂きました。総合理学部の先生方だけでなくお手伝いしていただいたお陰で、無事に滞りなく実施できました。
- ・ 直前まで、発表する生徒への指導、周到な企画・準備、当日のスムーズな進行や運営等、ご尽力頂いた先生方や手伝ってくれた生徒のお陰です。

本当にありがとうございました。心より感謝いたします。